



志村第一小学校コミュニティ・スクール委員会だより

〈家庭数配付〉

令和5年7月20日

板橋区立志村第一小学校

校長 湯本 正雄

第2回コミュニティ・スクール委員会が令和5年7月15日（土）に開催しましたので、次のとおり内容を報告します。

【学校長より】

- ・コロナ後の新しい学校生活の取組として、縦割り班での清掃活動や月1回のなかよし遊びを行ってきた。また、本日の「子どもまつり」は、児童の自主性を高める活動であった。
- ・安全面の確保として、主任児童委員、民生児童委員、ソーシャルワーカーのご協力をいただいたこと、大変有難かった。今後もご協力をお願いしたい。



【子どもまつりの様子】

【熟議テーマ】「学校評価に向けて」

以下、コミュニティ・スクール委員会が出されたご意見です。

- ・志一小式「つなげタイム」は、学力向上の面からも効果を上げていると思われる。特に、話すスキルを高めるという点で有効である。話をつないで協働して学ぶ姿は、他校のよい手本になっている。志一小式という点を強調してほしい。
- ・生活科、総合的な学習の時間で「志一小おうえんだん」との連携をより高めていってほしい。
- ・子どもまつりでは、学年に応じたそれぞれの活躍が多く見られた。子どもたちの笑顔が溢れ、盛り上がっていた。今後、更に工夫した活動が期待できる。
- ・本校の子どもたちは、登下校時等、校外でよく挨拶をしている。今年度から「挨拶週間」の取組が復活し、その効果の一つと考える。挨拶は、コミュニケーションとしても大切なものである。保護者にも、挨拶の大切さを啓発していってほしい。
- ・学校のいじめ防止の取組について示したリーフレットには、家庭における子育てで大切にしてほしいことが掲載されている。いじめの発見から解決まで、保護者も含めて見守り、深刻なケースになる前に解決していきたいことが伝わる。いじめと認知した事案は組織で早急に共有し、全教職員で確実に対応していってほしい。
- ・金品の貸借は、家庭で指導するべきものである。家庭の教育力を上げることに力も注いでほしい。

【各委員より】

- ・10月8日（日）、清水スポーツフェアを本校の校庭と体育館で開催する。地域の皆さんとコミュニケーションをとるよい機会となる。
- ・新型コロナウイルス感染症が、5類となって初めての夏休みとなる。様々な催し物が行われる予定である。地域でも子どもたちを見守っていく。
- ・6月から始まった「いきいき寺小屋」事業について、保護者からの感謝の言葉があり嬉しかった。
- ・安全面を確保する学校の見守りや手伝いは民生児童委員を中心に、2学期も続けていきたい。